

コロナウイルス感染防止のため、学校に登校できない状況が続いております。そのために、実習もできない状況になっています。この機会に「安全作業」ということについて、今一度じっくりと考えてみましょう。

工場などでは「5S」という言葉がルールのひとつとして頻繁に使用されていますが、皆さんは、この言葉の意味を知らないかもしれません。今回、「5S」について学んでいきましょう。

5 S とは？

5S とは、整理、整頓、清掃、清潔、しつけの最初の S をとったものです。作業の質を高め、かつ安全に行うための 5 項目をまとめています。

・整理(Seiri)

必要なものと不要なものを分けて不要なものを捨てることは、特に工場のような大量の資材や廃材がある職場では非常に重要な作業であり、それらをまとめて「整理」と呼びます。また、工場では、使用頻度の少ない機械の工程を外注することもこの「整理」に含まれます。

・整頓(Seiton)

資材や道具をすぐに取り出せるよう、置き場所や置き方をあらかじめ決めておくことは「整頓」に当たります。このことは作業効率を向上させる上でも重要となります。

・清掃(Seisou)

作業終了後に掃除をしてゴミや汚れのないきれいな職場を保つことだけでなく、機械のメンテナンスを定期的に行うことも「清掃」に含まれます。

・清潔(Seiketsu)

「整理」「整頓」「清掃」に共通する目的として、「清潔」な状態を維持することもまた 5S の概念に含まれます。常に作業場所を清潔な状態に保つためには、汚れたらすぐに掃除をすることを意識する必要があります。

・しつけ(Sitsuke)

これら 4 つの「S」を決められたとおりに実行するための「しつけ」もまた、5S の概念に含まれます。忙しいときや疲れているときなどは上の 4S を疎かにしがちであることから、いつでも変わりなく 4S を維持するという点においても、この「しつけ」は重要となります。

チェックポイント:「5S」にはどのようなものがあるか、もう一度考えて記入してください。

○

○

○

○

○

5S の取り組み方

取り組み 01

整理して無駄なものをなくすというと、ただの掃除に終始してしまうことがあります。それでは一時的な効果しかありません。

5S でいう「整理」とは、必要・不要の基準を明確にすることです。不要なものに赤など目立つ色で印を付け、期限を設けて処分します。印を付けるのは、職場の人全員が、不要なものとはどういうものかを認識できるようになるためです。

チェックポイント:教室や実習室で無駄や整理が必要と考えられるところを思い出してください。

取り組み 02

安全で衛生的な職場環境を保つのが「清掃」です。使う機器や道具のメンテナンスや点検も含まれます。ゴミや汚れが多く不衛生な作業場所では、作業に集中しにくく、重大なミスにつながりかねません。対照的にきれいで整った作業場所では、自然と作業もきちんと行おうという気持ちになり、作業効率もアップします。機器や道具は日頃メンテナンスをきちんと行っていると長持ちしますし、小さな不具合のうちに気付いて修理できます。日頃の清掃に加え、各箇所の細かな点検が必要です。

チェックポイント:清掃時に綺麗にするだけでなく気をつけるべき点は何ですか。

取り組み 03

道具や資材などの定位置を定め、誰もが分かるように表示しておく必要があります。見た目がきれいになるように並べても、取り出しやすく、戻しやすい場所に置いていなければ、整頓したことにはなりません。たとえば、作業に必要な道具を不便な場所に置いてしまうと、あちこち別の場所に置いてしまっで、たびたび探すことになるでしょう。

チェックポイント:清掃道具がまとめられている理由を考えましょう。

取り組み 04

5S が徹底されていない作業場所では、機械のメンテナンスが十分に行われていないことによる事故や、衛生状態が悪化することによる感染症にかかるリスクが多くなってしまいがちです。このようなリスクを軽減し、気持ちよく安全に作業に集中できる環境を整えるという点においても、5S を徹底することには大きな効果があります。

チェックポイント:「5S」を活用することと「安全作業」とのつながりについて考えてください。

取り組み 05

5S の意義と効果は、仕事を改善することだけではありません。工具箱がごちゃごちゃになっていると、人の心には、作業も、いい加減にやってもいいや、という気持ちが生まれます。反対に、きっちりと、整然と保管してあると、人の心には、作業も、きっちりとやろう、という気持ちが生まれます。

5S を行うことで、そこに働く人の中に、物を大切にすることが宿ります。仲間を気遣う心が育まれ、助け合う風土がつくられていきます。

チェックポイント:「5S」と品質について考えてみましょう。

5S 活動が目指す本当の目的とは

5S 活動は、「整理、整頓、清掃」などの言葉の印象から、詳しく学んだ事がない人には、単に「掃除」「綺麗にする活動」だと思っている方が多くいます。しかし、5S 活動はただの綺麗活動ではありません

5S 活動には主な 3 つの目的があります。それが「安全」「効率的」「快適」な作業場所を作ることです。

チェックポイント:5S 活動の 3 つの目的を上げましょう。

○

○

○

安全第一

とにかく安全第一！

5S 活動では、まず事故なく、安全に作業ができる環境を作ることが目的に職場を見直し、改善を行います。

チェックポイント:なぜ「安全第一」なのか考えてみてください。

効率の向上

モノを綺麗に整えても、見つけにくかったり、使いにくくなってしまうと意味がありません。また、無理な姿勢での作業によって疲れたり、体を壊したり、集中ができないなど作業の能率を下げてしまうこともあります。こういった様々な「ムリ・ムダ・ムラ」を見つけ出し、一つひとつ改善して、より楽に、より素早く作業できることを目指すこと。

チェックポイント:綺麗に清掃するだけでは何が足りないのか考えましょう。

快適

物理的にだけでなく、精神的にも快適だと感じられる環境づくりが大切です。そのためには、清潔を維持することは欠かせません。活動を通してしっかりとコミュニケーションを取り、取り組むことが重要です。

チェックポイント:快適な環境とはどのような環境を指しますか？

5S まとめ

チェックポイント:もう一度「5S」にはどのようなものがあるか、考えて記入してください。

- | | | |
|---|---|---|
| ○ | ○ | ○ |
| ○ | ○ | |

チェックポイント:もう一度、3つの目的を上げましょう。

- | | | |
|---|---|---|
| ○ | ○ | ○ |
|---|---|---|

これを機会に「5S」を意識していきましょう。